

質問事項

- ① 林業就業者の総数について、森林組合は6人減、林業会社は21人増となっているが、森林組合から林業会社への転職か
- ② 森林組合・林業会社の林業就業者増減の理由
- ③ 直近5～10年間ではどのような傾向にあるか

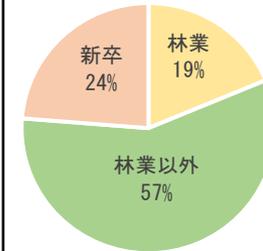
森林組合・林業事業者における林業就業者の現状

林業就業者の推移

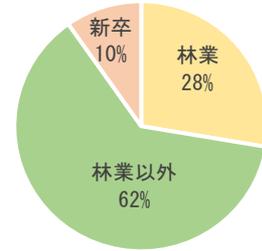


新規就業者の前職割合 (R2～R4の平均)

森林組合【図3-1】



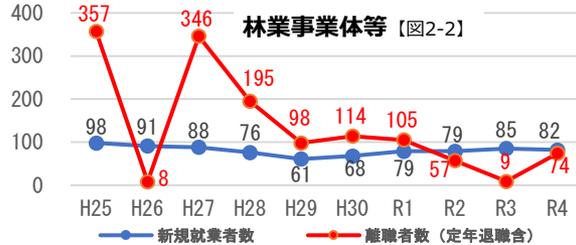
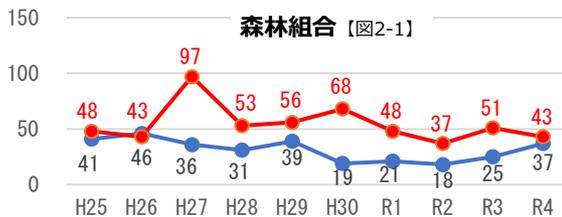
林業事業者等【図3-2】



※ 林業事業者等調査では、林業からの転職者の前の職場(森林組合・林業事業者等)を集計していないため、どの林業事業者等からの転職者であるかは不明

林業事業者等調査結果：長野県林務部

新規就業者・離職者の推移



	森林組合	林業事業者等
林業就業者	造林従事者が減少(10年間で約4割に減少)【図1-1】	素材生産従事者は増加傾向【図1-2】
新規就業者	年度ごとの増減はあるものの一定規模の新規就業者を確保【図2-1・図2-2】	
離職者	新規就業者を上回る者が離職【図2-1】	近年は減少傾向【図2-2】
新規就業者の前職	新卒者の採用が2割強を占める【図3-1】	林業からの転職者が約3割を占める【図3-2】

森林組合・林業事業者における林業就業者の傾向

- 森林組合は、造林従事者の減少や離職者が新規就業者を上回っていることが林業就業者数の減少の要因と推察される。
- 森林組合以外の林業事業者等は、素材生産従事者が増加傾向にあることや離職者が減少傾向にあることが、林業就業者の増加の要因と推察される。
- 森林組合、林業事業者等ともに、毎年、一定水準で新規就業者を確保している。
- 森林組合は「新卒者」を採用する割合が事業者より高く、林業事業者等は林業からの「転職者」を採用する割合が森林組合より高い。